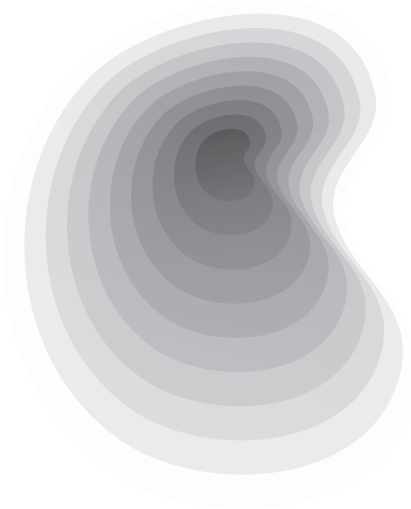


4C

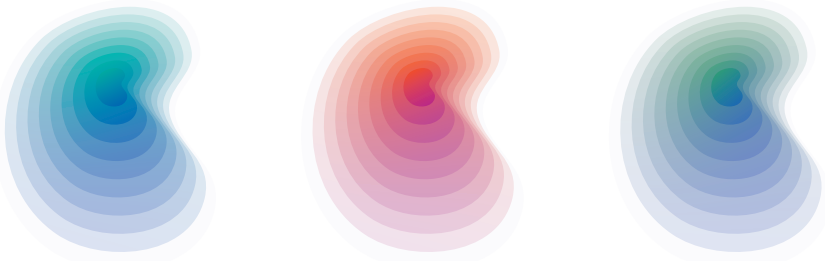


1C

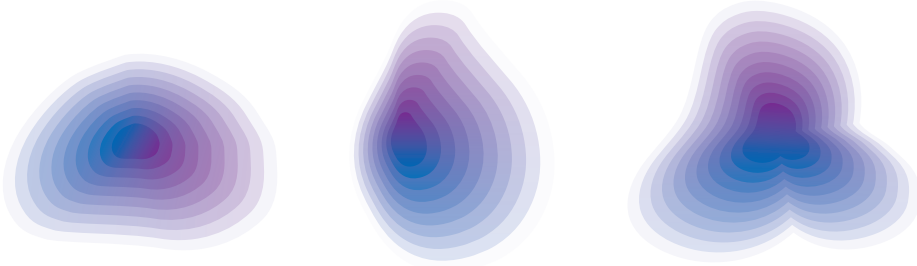
A 「オープンサイエンス」を視覚化

今回のプロジェクトの基板となるオープンサイエンスを「開放的」「柔軟」を想起させる抽象的な形状で表現。プロジェクトが進行するにあたり起こる「変化」や「広がり」も表します。

【色バリエーション】



【形状バリエーション】



↑決まった形をもたないというのが本プロジェクトの特徴だと思いますので、常に変化していく・発展していく・柔軟という意味で「使用するツールによって色や形状を複数使い分ける」というのはいかがでしょうか。



4C



1C

B 情報のプラットフォーム感 × オープンソース感

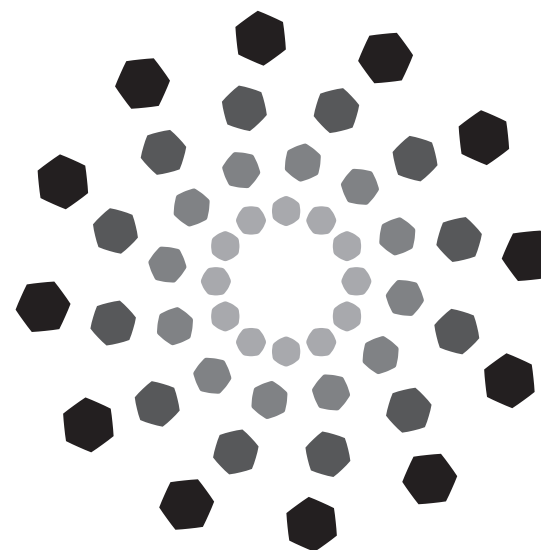
膨大な情報が集まるプラットフォームとしての存在感を、三角形の組み合わせから成る立方体で表現。

個々の三角形は本プロジェクトに関わる研究機関・人を象徴。

一丸となってより良い研究成果を生み出してほしいという願いを込めています。



4C



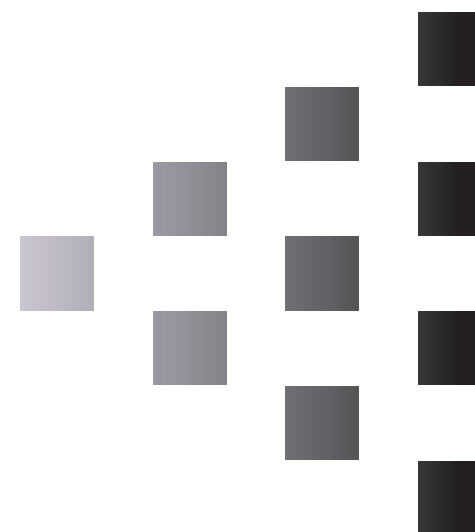
1C

C 知識・研究の集積・共有

オープンサイエンスにより個々の知識・研究の集積・共有が
やがて大きな成果を生む様子を小さな図形の集合体で表現。
生命科学分野のさらなる発展を開く花のような形状で表します。



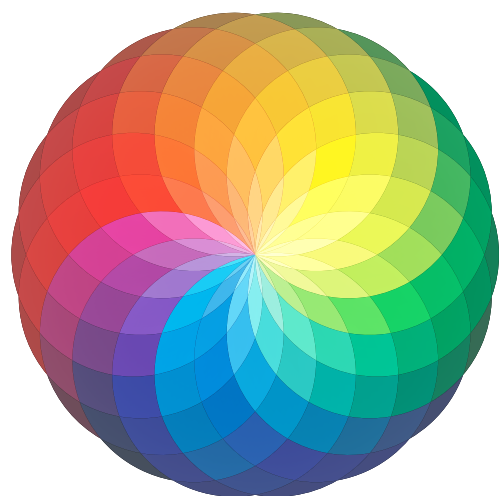
4C



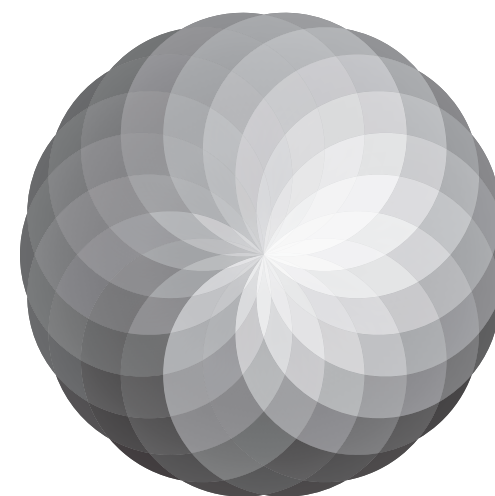
1C

D ビッグデータの生成・記録・分析

日々膨大に生成・記録・分析されるビッグデータは未来へのかけがえのない財産となる。そのビッグデータに焦点を当て、情報が集まり広がる様子を、視認性を考慮したシンプルな図形で表現します。



4C



1C

E 共有による相乗効果を図案化

オープンサイエンスによる知識・研究の「共有」や、それに伴った「相乗効果」を色の重なりで表現。
ロゴの中心から外側に向かって広がる形状プロジェクトの広がりを表します。



4C



1C

F 未来感 × オープンソース感

本プロジェクトが業界の未来を見据えたプロジェクトであること、
全ての情報がオープン(開かれた)ソースであることを、
扉をモチーフとした形状と、未来感のある色合いで表現します。



4C



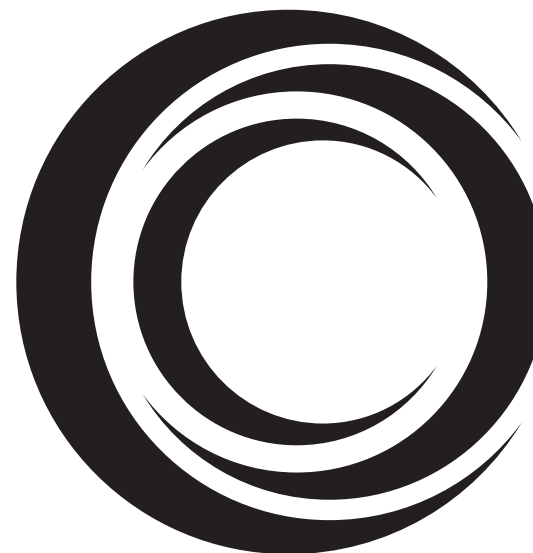
1C

G 知識の泉

オープンサイエンスにより集積された生命科学分野の知識を「泉」の形状で表現。
シンプルな形状で視認性や、認知してもらいやすさを担保します。



4C



1C

H 芽生え

「オープンサイエンス」の取り組みはやがて研究成果の芽を開く。
グラフィカルな形で「開花していく芽」を表現し、明るい未来への期待感を高めます。



4C



1C

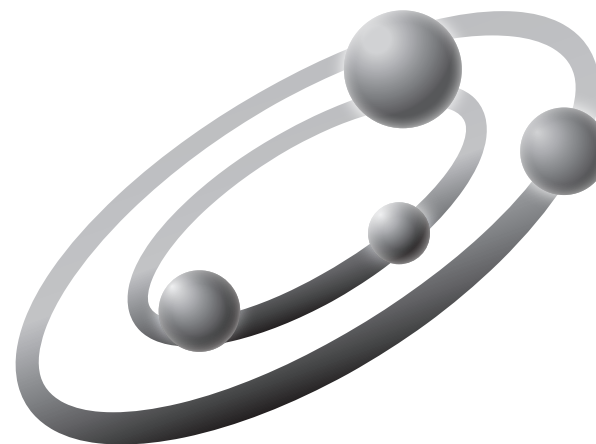
I 無限の可能性

生命科学分野全体の発展など無限の可能性を秘めている本プロジェクトを無限(むげん、infinity、∞)の形状で表現。

特徴的な形状で他の生命科学関係のロゴとの差別化を図ります。



4C



1C

J 知識の宇宙

生命科学の分野におけるプラットフォームが構築されることで、あらゆる知識が無限に集まり宇宙的な広がりを見せると考え、宇宙を想起させる形状で表現。プロジェクトの可能性、未来、希望を訴求します。